

や 広報たしる

No. 357

昭和58年5月号

田代町総務課編集

1,550部発行



田代銘茶の香り

五月に入り、町内各地では茶つみが最盛期を迎えています。

朝早くから夕方まで、多勢の人が一斉に取りかかって新緑の茶つみに汗を流していらっしゃいます。

今年は昨年のような晩霜の被害もなく順調な生育がみられ、大きな収穫が期待されています。茶工場からは新茶独特の香ばしい香りが漂い、本格的な春のおとずれを感じさせるようです。

茶業家のみなさんは、まだまだこれから忙しい時期が続きますが、天候に恵まれ、茶が順調に生育するよう祈りたいと思います。

人口の高齢化と公的年金

高齢者の比重

高まる社会に

老後の生活の大きな支えとして頼られている公的年金制度は、働く若い世代がみんなでお年寄りを支える、世代と世代の助け合いの制度です。国民年金をはじめとする公的年金制度には、サラリーマン、農業、自営業など、現役の勤労世代のすべての方々が加入しており、その総数は、六千万人にのぼっています。また、一千七百万人もの方々が公的年金を受給しており、老後生活を安定的に送っているという制度となっています。

年金は老後の支え

かつては人生五十年といわれましたが、現在は人生八十年。わが国は世界にも例をみない短期間での高齢化社会になります。やがて到来するその時代においても、年金制度が老後生活の支えとしての機能を十分に発揮できるように、今のうちから真剣に考えていく必要があります。

まず、六十五歳以上の年齢層についてみると、現在（昭和五十五年）は、総人口の九%、一〇五八万人であり、この割合は漸次増加し、二十一世紀を迎える昭和七十五年には一五・六%、そして昭和九十五年には二一・八%となつて高齢化のピークを迎えます。他方、現役の勤労者として社会経済を支える中心となり、また、年金制度を支える中心となつて二十歳から五十歳までの年齢層はどうだろうか。現在、この年齢層の総人口に占める割合は五五・五%であり、今世紀中は、おおむね横ばいで推移します。ところが二十一世紀に入ると、減少傾向を示し、昭和八十五年には四九・八%と総人口の半数に満たない割合で推移するものとみられています。

年齢区分別人口数の推移 (単位:千人,カッコ内%)

	総数	0～19歳	20～59歳	60～64歳	65歳以上
昭和30年	(100) 89,276	(43.0) 38,424	(48.8) 43,608	(2.8) 2,497	(5.4) 4,747
55年	(100) 116,916	(30.6) 35,778	(56.5) 66,091	(3.8) 4,469	(9.0) 10,578
75年	(100) 128,119	(23.2) 29,698	(55.4) 70,924	(5.9) 7,554	(15.6) 19,943
95年	(100) 128,115	(23.1) 29,591	(49.6) 63,595	(5.4) 6,979	(21.8) 27,950

(資料) 昭和55年以前は国勢調査。昭和75年以降は、人口問題研究所中位推計値

世代間のバランス

年金の水準については、三十年、四十一年後の高齢化社会ではほとんどの人が四十年加入の年金を受けることになり、現役勤労者が受ける給料の七〇%、八〇%にも達すると言われている。現役勤労者の生活水準と年金受給者の生活水準とのバランスからみると、現在の年金が適正であるかどうか、また、保険料を負担する現役

公的年金制度の役割

勤労者の生活設計については、自助努力、自分の子からうける私的扶養及び公的年金制度を中心とする社会的扶養の三つの要素から考えられますが、十五年から二十年にも及ぶ長い期間の生計費を自助努力のみで準備するにはおのずから限界があり、こうした中で、公的年金制度が老後の生活保障の中核としての役割を果たすことが期待され、ことに、本格的な高齢化社会の到来を間近に控え、制度の重要性がますます高まりつつある今日、わが国の人口構造の高齢化がピークを迎える時代においても、制度が十分にその機能を発揮できるよう、健全かつ安定的な制度運営を、世代間の強固な助け合いの精神にもとづき今後とも努力していくことが必要でしょう。

議会の構成決まる

先ほど実施された町議会議員選挙後、はじめての臨時議会が五月二日に招集され、正副議長、一部事務組合議会の構成、一部事務組合議会議員の選挙等を行いました。新しい構成は次のとおりです。

- 議長 右田 始
副議長 舞原 一己
- △常任委員会▽
総務民生常任委員会
委員長 有馬 功
副委員長 浜田 孝郎
委員 前之園良輝
尾ノ後幸一郎
岩崎 美義
貫見 徹郎
右田 始
- 経済建設常任委員会
委員長 宮原 貢
副委員長 山元 須直
委員 瀬口 勝
荒木 房雄
中原 操
石井 幸男
舞原 一己



新議員の当選証書付与式

- △一部事務組合▽
大根田衛生管理組合議会議員
石井 幸男
中原 操
- 南大隅衛生管理組合議会議員
右田 始
貫見 徹郎
- 大隅中部火葬場組合議会議員
岩崎 美義
- 肝属隔離病舎組合議会議員
山元 須直
- 大隅肝属地区消防組合議会議員
右田 始
- △議会選出監査委員▽
荒木 房雄

新議員紹介

- 右田 始 (六十歳)
大正十二年二月十六日生
町議六期、商業、東中郡
- 舞原 一己 (五十四歳)
昭和四年九月二十三日生
町議四期、団体職員、鶴園
- 有馬 功 (五十五歳)
昭和二年十月二十日生、町議三期、農業、盤山
- 浜田 孝郎 (四十七歳)
昭和十年十一月二十六日生
町議二期、農業、池野
- 宮原 貢 (五十二歳)
昭和五年七月二日生、町議三期、農業、山ノ口
- 山元 須直 (四十九歳)
昭和八年十月十七日生、町議四期、農業、西大原
- 岩崎 美義 (六十五歳)
大正七年三月二十日生、町議二期、商業、岩崎
- 貫見 徹郎 (五十七歳)
大正十五年十月二日生、町議六期、団体職員、池野
- 荒木 房雄 (五十一歳)
昭和七年二月十日生、町議二期、商業、東中郡
- 中原 操 (五十九歳)
大正十三年三月三十日生
町議二期、農業、橋ノ口
- 石井 幸男 (四十九歳)
昭和九年一月三日生、町議三期、農業、平石
- 尾ノ後幸一郎 (四十六歳)
昭和十一年九月十一日生
町議初、農業、表木
- 瀬口 勝 (五十四歳)
昭和四年一月五日生、町議初、農業、上柴立
- 前之園良輝 (三十九歳)
昭和十八年十一月二十八日生、町議初、商業、東中郡
- 以上十四人の方々が、町民の皆様の代表として、田代町をしっかりと見守り、町の発展のために、大いに頑張りたいと思います。

町税納期一覧

昭和五十八年度の税目別納期は、次のとおりです。すべての税が納期内に完納できるよう町民各位の御理解と、一層の御協力をお願いいたします。

税 目	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
町・県民税			○			○			○			
固定資産税	○			○			○			○		
軽自動車税	○											
国民健康保険税		○				○		○		○		

教育だより

一年生を迎えよう！

田代小学校

今年もかわいい一年生が三十五人入学してきました。その一年生を迎える会が、去る四月十六日に開かれました。計画から運営まで全て児童会で進められました。

各学級から歌などを披露すると、新入生は目を丸くし、興奮した様子で楽しく耳を傾けていました。五年生は、一年生のときの給食時間という題で寸劇をやり、「ああ、自分たちも残さず食べよう。」と言わんばかりにうなずいていました。

また、五年生から手作りのきれいな、かわいい勲章を首にかけてもらって大はしゃぎさらに、美しい飾りのついた屑箱を各学級からプレゼントされ、可愛い顔から喜びがこぼれていました。

一年生の前之園聡子さんが「お兄さん、お姉さんありがとう、とても楽しいでした。これからも仲よくしてね。」とあいさつをしました。



くずばこのプレゼント

さいごに、一年生が六年生の兄さん姉さんの背におんぶされ、体育館を一周しました。まるでお父さんやお母さんにおんぶされた感じになったのでしよう。とてもはずんでいました。

そのあと、全校児童がトンネルをつくり、その中を通過して楽しい時間をすごしました。学校には、いいこと、楽しいことがいっぱいあることを心の中に温めたことでしょう。

ニゼンちゃん大活躍

子どもたちを交通事故から守ろう、というスローガンで交通安全教室を開催しました。県警本部から女の子を含めた五人のお巡りさんが、道具、小道具をいっぱい持ち込み、交通事故の恐ろしさや、

花瀬駅伝総合二位

大原中学校

去る四月三日の花瀬駅伝大会に出場して走ることに楽しみ苦しさを経験しました。今年「やるぞ」という気持ちで最初から持っていました。大会前の練習は、雨の日が多く、十分にできませんでした。



毎月第三土曜日は青少年育成の日です子ども会活動に取組みましょう。

安全の守り方を話してください。交通安全体操や横断歩道の渡り方を練習したり、中でも子どもたちの心をひいたのは、腹話術のゼンちゃんでした。

ゼンちゃんと呼びかけに知らず知らずいきました。対話が深まってきました。

子どもたちは、いつもゼンちゃんを思い出して交通安全を守っていくことでしょう。

東門補修工事完了！

町当局のご助力により、役場前の東門改修が終わり、見違える程広々としたきれいな門に整備されました。

また、旧校舎の東側入口もアルミサッシに改修され、プールサイドも三月までに全面コンクリート舗装になり、施設、設備も着々と整い充実した毎日です。

◆新一年生とともに◆

桜の花咲きはこる四月六日今年も男子6人、女子8人計14人の元気な一年生が、中学校の門をくぐりました。あまりに嬉しかったのか、中には式の二時間前に来て、学校内をぐるぐるまわっている生徒もいました。

新しい中学校生活のスタートにあたっては、勉強のことに部活動のこと、その他いろいろの不安と期待でいっぱいです。

目標を立てたり、学校目標生徒会の規約を読むなどし、学級指導等のあとは、いよいよ教科ごとの学習の始まりです。まだまだ何をやるにしてもワテンボ遅れがちで、のんびりしすぎているところと忘れ物が多いという欠点を除けば、それぞれ元氣よく、病気をする生徒も一人もなく、楽しく学校生活を送っているようです。制服がまだ大きめではあるけれども、やがてこの制服がすっかり自分たちのものとなり心も体も立派な中学生となるようにと、新入生14人は、担任一年目という先生とともに新しい中学校生活を張りきってスタートしました。

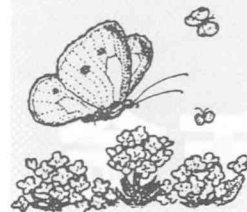
昭和五十八年度
振興大会について

町振興大会は、町の経済振興、文化の向上を目的とする相互の研修の場として開催されています。

本大会が過去に収めた実績は本町経済文化の向上に大きな成果を挙げ、更に今後の町づくりに大きな期待が寄せられています。

先の地域振興審議会に於いて、本大会の開催について協議がなされました。今年度開催は十一月を予定とし、内容は各種表彰（功労賞、奨励賞、特別賞、産業経済、地方自治納税）、農林産物、文化活動の発表、展示を行い又、各機関、団体の協力を得て町民総参加の大会とします。

尚、詳細な内容については更に協議がなされます。



健康だより

「成人病」

予防が最良の治良です！

農繁期を迎えて心身共に過労になりがちの事と思います。さらにこの季節は暖かくなりながらも急に冷え込む時もあり高血圧の人にとっては倒れる人が多い時です。この脳心血管系の病気の多くは、動脈硬化と非常に密接な関係があり、加齢と共に高血圧や肥満、過剰のコレステロールなどの要因が加わると動脈を衰えさせますがこれ以外にも過労、過剰なストレス、中性脂肪・糖尿病・痛風・偏食・たばこ・運動不足等もあります。酒は適量を飲めば「百薬の長」と言われ楽しいもので、血液の循環はよくなり、食欲増進、ストレス解消にもなりますが、問題は量で酒に飲まれたらいいけません。上手な飲み方として、

①栄養のバランスを考えた肴（さかな）魚類、豆腐や豆類野菜海藻類を食べながら飲む。

②毎日続けて飲まず、週休二日制にする。

③酒を飲みながらたばこは吸わない。

④夜、ゆっくり時間をかけて

くつろいで飲む。

⑤晩酌は一日一合程度にする。

⑥飲んだら静かに休む。飲酒後の入浴・セックスは禁物、酒を一日三合以上長年飲み続けると肝臓がやられ、肝炎、肝硬変、アルコール中毒になる事があります。たばこはその魅力にとりつかれた者にとって唯一の楽しみかも知れませんが、実際たばこは百害あって一利なしが本当です。第一にたばこは肺がんの原因や外にも動脈硬化を促進したり、心臓血管系（不整脈・狭心症）消化器系に悪影響を与えています。又たばこを吸っていない人でも、間接煙で人体に悪影響を与える事から、喫煙者は自分自身の問題ではなく他人にも影響をおよぼしている事をもう一度考え直す必要があります。現在肺がんは胃がんに次いで多いガンですが非常に勢いで増加しています。今世紀末には第一位になる事も予測されますので喫煙習慣はやめるのが望ましいです。農繁期こそ健康に気をつけなければなりません。高血圧の人も症状がほとんどない人が多い為、ついつい思いがちです。再三血圧を測り自分の血圧を知る・薬も自己判断で勝手に服

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

人口のうごき

基本台帳人口	前月との増減
昭和58年4月1日現在	
男 2,131人	△29人
女 2,306人	△26人
計 4,437人	△55人
世帯数 1,470戸	△5戸

昭和58年度南大隅高校田代分校人事異動

(転入)

職名	氏名	旧任校	出身地	担当
教諭	竹之下 正人	国分高	鹿児島市	理科
〃	白沢 洋	鹿・西高	川辺町	国語
〃	米森 明	串良商業高	鹿児島市	商業
事務主事	梶木 賢治	宮内小	大口市	事務

(よろしくおねがいします。)

(転出)

新任校	職名	氏名	本校在職年数
指宿高	教諭	岡元 末治	7.0
指宿商業高	〃	迫田 孝司	7.0
牧之原養護	〃	牧原 敏美	7.0
栗野工業高	〃	瀬之口 恒春	7.0
大島高	〃	寺田 仁志	4.0
北薩教育事務所	事務主事	鳥丸 隆志	4.0

(お世話になりました。)

花瀬祭町内一周駅伝大会

大隅授産センター(一般)大原中(学生)優勝



一勢にスタートノ

恒例の花瀬公園祭町内一周駅伝大会が二十一チームの参加を得て、花瀬公園―大原―新田峠―麓―川原―花瀬公園のコースで行われた。
今年には参加チームが大幅に増え、中でも、山ノ口小組合鶴園小組合、大隅授産センターの初参加、オープン参加ながらも田代中女子バレーボール部の参加が見られ、盛上った大会となった。
好天の下、午前九時にスタートした各チームの選手の間は、沿道の多数の町民の皆さんの声援を受け力走されました。
今大会は、町民の健康づくり、村づくりの一環として行



ゴール付近のようすノ

われましたが、町民の総親和を図る上でも意義有る大会だったと確信します。
最後に、大会役員としてご助力をいただきました町体協役員の方々や交通安全協会の方々、田代分校の女子学生の方々に感謝申し上げます。
◎成績は次の通り
△一般の部▽
1位 大隅授産
2位 鳥淵
3位 猪鹿倉
4位 辺志切
5位 農協A
6位 役場A
7位 内ノ牧
8位 鶴園
9位 早瀬郷
10位 平石

△学生の部▽
1位 大原中
2位 田代高A
3位 田代中A
4位 田代中B
5位 田代高C
6位 田代高B
11位 盤山
12位 山ノ口

△区間賞▽
1位 二川進一郎
2位 南園 高樹
3位 立神 重雄
4位 猪鹿倉秀志
5位 淵田 隆男
6位 福岡 良和
7位 原 通広

青少年育成推進指導員紹介

新しい青少年育成推進指導員の方が決まりました。

これは、県の青少年育成県民会議が任命したもので、主に地域の青少年団体やその指導者の方々と連携をとって、町及び県の青少年を対象とする施策の推進普及を任務としています。

したがって、地域の子ども会や高校学生会では、これらの指導員の方々に連携を取り合っていただくようお願いいたします。

○青少年育成推進指導員

麓地区 中原 幸雄
川原地区 久保 正心
大原地区 有里 正心
(昭和60年3月31日まで)

町開発センター及び体育施設等の有効活用について

町民の文化活動及び健康体力作りのため、開発センター各運動施設を広くご利用していただいております。利用率も年々高くなり、社会教育を推進する上でたいへん喜ばしく思う所です。

ところが、残念なことに利用者数の増加に伴い、利用マナーが少し低下してしまいました。町民財産としての施設であり、お互い気持ちよく利用するためにルールを決めましたのでお守りくださるようお願いいたします。

スポーツ傷害保険に加入しよう

さわやかな気候の訪れとともにスポーツのシーズンがやってきました。

町教育委員会では、皆さんが安心してスポーツができるようにスポーツ安全協会傷害保険の加入を奨励しています。事故が起きてからでは遅すぎます。未加入の方はできるだけ早くされた方が得策です。